

お知らせ

令和5年12月18日

「令和5年度第3回山陰道地すべり対策検討委員会」 の開催結果及び今後の予定について

令和5年12月18日に開催した「令和5年度第3回山陰道地すべり対策検討委員会」の開催結果及びその結果に基づいた今後の予定についてお知らせします。

〈地すべり検討委員会結果〉

- ・議事次第、出席者配席表・・・・・・・・・・別紙－1
- ・説明資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙－2
- ・結果要旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙－3

〈今後の予定〉

○本復旧対策工法について

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工（地下水排除工）
- ・法粹工

○本復旧対策完了の見通しについて

- ・本復旧対策については、今後1年程度を要する見込み。（R6年12月完了予定）

なお、今後の天候（大雨や台風）や地すべり変位の状況により、完了時期が変更になる場合があります。

問い合わせ先	国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所
	副所長（管理） 伊藤 法政（いとう のりまさ）（内205）
	【担 当】保全対策官 高橋 大輔（たかはし だいすけ）（内408）
	【広報担当】計画課長 山本 活稔（やまもと かつとし）（内261）
	TEL：（0852）60-1347（直通）
	：（0852）26-0611（夜間・休日）
	URL： https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/

※松江国道事務所では、X(旧twitter)による情報発信を行っています。

X(旧twitter) https://twitter.com/road_matsue

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

QRコード



山陰道地すべり対策検討委員会

日 時：令和5年12月18日（月）13:15～

場 所：松江国道事務所 3階会議室（WEB併用）

議 事 次 第

1. 開会

松江国道事務所長 挨拶

2. 議事

本復旧対策工法について

3. 閉会

令和5年度第3回山陰道地すべり対策検討委員会

出席者配席表

スクリーン

事務局

事務局

PC・WEBカメラ

出入口

委員
島根大学
准教授 小暮 哲也

委員
松江国道事務所長
近藤 弘嗣

マイク・スピーカー

報道席

報道席

委員長
松江工業高等専門学校
教授 河原 莊一郎

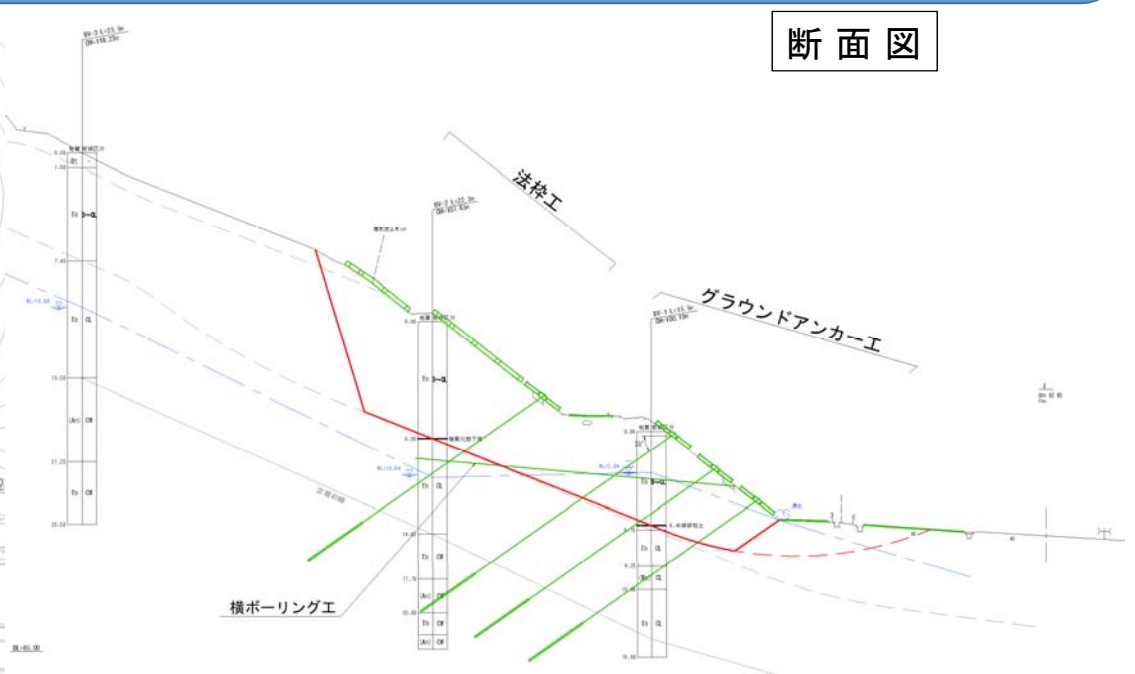
※Web参加者

国土技術政策総合研究所	道路基礎研究室長	渡邊 一弘
国立研究開発法人	土木研究所 上席研究員	杉本 宏之
国立研究開発法人	土木研究所 上席研究員	浅井 健一
中国地方整備局	道路部 道路情報管理官	前田 文雄

■ 本復旧対策工法について

本復旧対策工法としては、以下の対策内容を行うこととする。

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工(地下水排除工)
- ・法枠工



＜施工例写真＞

(左) 法枠工

(右) グラウンドアンカー工

○地すべり観測状況について

- ・一部の計器で微少な変動が確認されているが、地すべりブロック全体の変動状況は、概ね安定した状態にあると評価でき、現状の監視体制を継続する。
地すべり観測期間については、地すべり対策の効果を確認することを目的に、工事完了後、1年間程度継続するものとする。

○本復旧対策工法について

本復旧対策としては、以下の対策内容を実施することで、当該法面の安定を確保できると考えられる。

- ・グラウンドアンカー工
- ・横ボーリング工（地下水排除工）
- ・法枠工

○本復旧対策完了の見通しについて

- ・本復旧対策については、今後1年程度を要する見込み。（R6年12月完了予定）
なお、今後の天候（大雨や台風）や地すべり変位の状況により完了時期は変更となることがあります。

【委員会での議論の結果】

地すべり観測結果、地すべりの状況、本復旧対策工法については、概ね妥当である。